

[特集] 文化を紡ぎ、 地域とつながる場を創る

青山ジャズ・イニシャティブ2011／渋谷芸術祭／青山 commons
青山祭／クリスマス・ツリー点火祭／オール青山メサイア公演

みんなで 応援に行こう! 青山スポーツ冬の陣

TOPICS 21世紀青山キャンパスのシンボルとなる「大学17号館」―青山キャンパス再開発進行状況
社会とともに常に進化を続ける学び 2012年度、社会情報学部の新カリキュラムがスタート!
10月以降の進路支援プログラムについて

報告・お知らせ 2011年度 給付奨学金・学業奨励賞
ドイツ・ケルン大学とデュッセルドルフ大学で日独修好150周年記念国際会議
石巻プロジェクトの竣工式を迎えて

誌上公開講座 Aogaku Lecture③
祝祭論―祭りの身体

INFORMATION 青山学院大学後援会報告
「受験生のための学部説明会」開催報告
「大学案内2012」をウェブサイトで公開中



相模原キャンパス・相模原祭



文化を紡ぎ、 地域とつながる場を創る

青山ジャズ・ イニシャティブ2011

「アジアの平和」をテーマに、国際色豊かに開催します

青山学院からは多くの出身者が
ジャズの分野で活躍しており、本学
の誇る伝統のひとつです。今年は
海外からのゲストもまじえ、より魅
力的なジャズをお届けします。



【11月20日(日)13時～ 青山キャンパス 青山学院講堂】

「青山ジャズ・イニシャティブ」は昨年、本学の「ロイヤルサ
ウンズ・ジャズ・オーケストラ」が中心となって開催したジャ
ズ・コンサートです。ジャズを通して大学教育と文化をより豊
かなものに、本学と地域社会との絆を深めることを目的と
しています。約600人のジャズファンが集まり6時間にわたっ
て会場を盛りあげ、大好評を得ました。「イニシャティブ」開
催にあたっては元文化庁長官で本学特任教授の青木保教授
が実行委員長を務め、青山・表参道地域に拠点をおく国連大
学、伊藤忠商事や日本オラクル社などの企業、および文化庁
や毎日新聞社などからご支援をいただくことができました。

今年の「青山ジャズ・イニシャティブ」は11月20日の13時
から青山学院講堂で開催します。予約等は不要で自由にご
来場いただけます。テーマに「アジアの平和」を掲げ、韓国の
梨花女子大学のジャズバンド
Jazz 2-5と中国のジャズピアニ
スト夏佳(シャー・ジャー)のトリ
オが参加するほか、明治大学、
東京工業大学、米海軍、大成建
設のジャズバンドなど8バンド
が出演。青山発のイベントとし
て、一段と国際色を増した今年
の「青山ジャズ・イニシャティ
ブ」にご期待ください。

(副学長 土山 実男 記)

“芸術の秋”を迎え、学生たちは自分の表現を追求する
さまざまな活動に取り組んでいます。今回は、開催を間
近に控えた学内外のイベントをご紹介します。



青山学院初等部の児童も加わっての「明日の神話」除幕式



第3回「渋谷芸術祭」
11月19日(土)～11月26日(土)

●渋谷芸術祭公式サイトの上り上げまでは
<http://www.renkei.aoyama.ac.jp/>
をご覧ください。



メイン会場は青山学院アスタジオと国連大学前広場



第3回「青山コモンズ」
10月22日(土)～11月26日(土)

●青山コモンズ公式サイトの上り上げまでは
<http://www.renkei.aoyama.ac.jp/>
をご覧ください。

渋谷芸術祭・青山コモンズ

青学発の地域イベントが、渋谷・青山の先端文化を世界に向けて発信します

青山学院は地域とともに、渋谷・青山の先端文化を全国に、そして世界に発信するイベント「渋谷芸術祭」「青山コモンズ」を企画・運営して
きました。学生スタッフを務める杉本君、岩佐さん、全体の運営に携わる井口先生に、第3回を迎える今年の企画について聞きました。



杉本 将一君 総合文化政策学部総合文化政策学科2年

『明日の神話』にちなむパフォーマンスを通じて
被災地にエールを送ります

学生は「渋谷芸術祭」のプログラムのひとつ『明日の神話』プロジェクトに
携わっています。渋谷駅コンコースに設置されている大壁画『明日の神話』は「核にも負けな
い人間の尊厳」をテーマに岡本太郎が描いた作品ですが、今回はそれを「地震・津波・原発事
故にも負けない人間の尊厳」として改めて位置づけ、渋谷から被災地、日本全国に向けてエ
ールを送ることにしています。

みなさんにご注目いただきたいのは、11月19日に渋谷駅周辺で私たちが行うパフォーマ
ンです。地元の小中学生や市民が『明日の神話』をモチーフに、アーティストの日比野克彦さん
と一緒に、何枚もの小さなフラッグを作成します。それをもとに街頭プロモーション展開し、本
プロジェクトに賛同していただける来街者の方々とともに、大きなボードに貼り合わせます。
参加者全員の思いを込めた作品づくりに、ぜひご参加いただければと思います。

●『明日の神話』プロジェクトでは、東京都の助成を受け、復興支援活動に携わる人々をウェブ上でつなぐプラットフォームの構
築・運営も行っています。



青学生の誘いを受けて、渋谷駅ハチ公広場の会場にはAIさんが参加



岩佐 美咲さん 総合文化政策学部総合文化政策学科3年

「花」をモチーフに
多彩な取り組みを展開します

学生は「青山コモンズ」のコンテンツ「花綵(はな
づな)列島」を企画・運営しています。花の開花を表す「咲く」という
言葉には、もともと「笑う」という意味があり、それをヒントに「青山
から被災地へ笑顔をお届けよう」と、この名をつけました。

実施内容は、当日のカフェ・トークショー・ライブの運営をはじめ、
ウェブコンテンツの作成、ワークショップ、被災地に赴いての支援活
動など多岐にわたります。ワークショップでつくったアート作品を学
生が被災地へ直接届け、その様子を動画配信するなど、各活動が
有機的に結びついていることが特徴です。

当日は、みなさんにも心温まる企画をご用意してあります。また
支援の輪を広げる活動については、被災地の方々との交流やウェ
ブ上での動画配信などを通して、イベント後も継続していきます。



NHKの特集番組に出演の青学生が青山コモンズを全国に紹介

没後50年記念グレインジャー音楽祭2011

オーストラリア出身の異色の音楽家バーシー・グレイ
ンジャーの没後50年を記念した国際シンポジウムとコンサ
ートを開催します。準備・運営は総合文化政策学部の「映像翻
訳ラボ(宮澤淳一 教授)」「メディアテーク・ラボ(大島正嗣
教授)」「音楽ラボ(川口義晴 講師)」が担当しています。

SCAPE WORKS 百軒店 2011 VIRTUAL

かつて渋谷のにぎわいの中心として映画館やジャズ喫茶
などが軒を並べた渋谷百軒店。総合文化政策学部の鳥越け
い子教授のラボではその魅力を広く伝えるべく、独自のアー
ト・イベント<SCAPE WORKS 百軒店>を開催してきました。
今年はこれまでの3年間の歩み、写真、音楽、映像などを
を通して青山学院アスタジオなどに再現します。

11月27日(日)10時30分～18時40分(どのセッションからも参加自由) 青山キャンパス 青山学院講堂ほか
■ドキュメンタリー映画『高貴なる野蛮』(字幕付き)上映
■基調講演・国際シンポジウム「グレインジャーのオーストラリアン・スピリットとグローバル・マインド」
■演奏予定楽曲:(ストランド街のベンデル)、「カントリー・ガールズ」(「子供たちの花束」)、「ボーギーとベス」(幻想曲)ほか
■演奏予定者:ペネロピ・スウェイツ、大澤健一指揮にたちWINDS、山口雅敏&伊賀あゆみ ほか
※楽曲・演奏者等は変更となる場合があります。プログラムの詳細はウェブサイトでご確認ください。

<http://www.walkingtune.com/grainger2011/>

【お問い合わせ】グレインジャー没後50年記念イベント実行委員会 [grainger2011@walkingtune.com]

10月12日(水)～11月6日(日)

■百軒店・ひろがる写真展:百軒店のお店や人を訪ね、まちへの想いを聞き、撮影してきた写真たち
■ミュージック“Live”百軒店:幻のジャズ喫茶から伝説の名店の音楽を辿る
■百軒店aura:映像で伝えるまちの魅力とその記憶
■くつろぎ屋:百軒店児童遊園地に出現した仮設アートスペースの記録
イベントの詳細についてはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.scapeworks.jp/>

2011年、国により「東京・秋の6大イベント」に選ばれました 社会学連携の豊富な実績が、2つのイベントを支えています

青山学院大学では、2005年、「渋谷・原宿・青山を繋ぐ商業観光拠点の育成～本学の理念に基づく地域貢献
の実践と社会学連携体制の拡充」が文部科学省の現代GPIに採択され、翌年には「社会学連携研究センター
(SACRE)」を発足させました。以来SACREは、地域と青山学院とをつなぐ窓口として、まちづくりの支援、シンポ
ジウムやイベントの開催など、積極的な活動を展開しています。岡本太郎の大壁画『明日の神話』の渋谷駅への
招致や、「渋谷芸術祭」「青山コモンズ」の企画と立ち上げも、その一環として行ってきました。

今年、上記イベントが、国によってコ・フェスタやジャパン・ファッション・ウィークなどとともに「東京・秋の6大
イベント(Tokyo Autumn)」に選ばれ、コンテンツは全世界に発信されています。もちろん東日本大震災の被災
者支援が大きなテーマとなっています。国・自治体・NHK・国連大学・地元市民・地域企業などの支援を受け、秋
の風物詩として定着してきた青山学院がリードする2つのアート・イベントに、ぜひご注目ください。



社会学連携研究センター(SACRE) 所長
井口 典夫

青山祭

活気あふれる青学生たちで賑わう「青山祭」が今年もやってきます

10月28日(金)～30日(日)、「青山祭」が開催されます。毎年、趣向を凝らした多彩な催しが企画される青山祭ですが、今年はどうのような見どころがあるのでしょうか。実行委員会 委員長として運営を束ねる中谷君に話を聞きました。



中谷 健太君
青山祭実行委員会 委員長 教育人間科学部教育学科3年

数ある見どころの中でまずご覧いただきたいのが、中庭ステージで開催される「ミュージックフェスティバル(MF)」と「ダンスフェスティバル(DF)」です。これらは毎年オーディションを行って出場者を決めるのですが、今年もかなりハイレベルなステージになると思われ、会場が大きな熱気に包まれることは、審査に携わった私たちが保証します。紅白のちょうちんを持って夕方の青山通りを練り歩く青山祭名物の「ちょうちん行列」にも注目してください。そして今年は、ゲストを招いたイベントも充実しています。講演会には、放送作家の鈴木おさむさん、フリーアナウンサーの羽鳥慎一さん、ファッションモデルの桃華絵里さん、歌手やモデルなど幅広く活躍するIMALUさんをお呼びし、「AOYAMA FESTIVAL LIVE 2011」ではCHEMISTRYが登場します。

今年は、震災の影響で全国的に自粛ムードが広がっていますが、そんなときだからこそ「本当に楽しめる時間」をみなさんに提供したいと考えています。実行委員会一同、懸命に準備を進めていますので、ぜひ足をお運びください。また、青山祭ではエコへの取り組みの一環として、徹底したごみの分別を行っています。ご来場の際は、ご理解、ご協力も併せてお願いします。



2011年度のテーマは「いざ、」

今年3月の東日本大震災により一時は中止も心配された青山祭ですが、実行委員会全員の「苦境に負けず、最高の青山祭をつくりたい」という決意のもと、今年も開催が決定しました。そのような向上心を表す言葉として2011年度のテーマに選ばれたのが、仲間と何かに立ち向かうときの掛け声である「いざ、」です。あえて続きを感じさせる「、」で終わるのは、楽しみ方や求めるものが、青山祭に関わる人それぞれにあることを意味しています。

■日時 10月28日(金) 14:00～17:00
10月29日(土) 9:00～18:00
10月30日(日) 9:00～17:00



オール青山メサイア公演

36回目を迎える伝統の公演が12月23日(金・祝)に青山学院講堂にて行われます

1976年から始まった「オール青山メサイア公演」は、青山学院管弦楽団と複数の合唱団体が共演する一大イベントです。企画から運営、演奏までを学生が主体となっていくのが伝統で、今年も各団体が協力しながら々と準備を進めています。実行委員会 委員長の金子さんに、公演の魅力について聞きました。

オール青山メサイア公演

■日程 12月23日(金・祝)
■開演 15:00(開場14:15)
■会場 青山学院講堂
料金 1,500円 全席自由
チケットぴあにて事前販売をする予定です。当日券もご用意しています。



クリスマス・ツリー点火祭

力あふれるゴスペルが、光に彩られた夕闇に響きます

今年も11月25日(金)、「クリスマス・ツリー点火祭」が青山・相模原の両キャンパスで開催されます。相模原キャンパスでは、ゴスペル・クワイアが、神の愛と恵み、喜びと希望を伝える、力強い歌声を披露します。隊長を務める小野寺君に当日に向けた意気込みを聞きました。



クリスマス・ツリー点火祭

イエス・キリストの降誕を待ち望む気持ちを、一堂に集まって心に刻む礼拝行事。幻想的なツリーの灯りと美しい音楽が人々を魅了する青山学院の大切なセレモニーです。

■日時 11月25日(金)
相模原キャンパス 16:30～17:10
青山キャンパス 17:20～18:00



小野寺 仰君
ゴスペル・クワイア 隊長 経済学部経済学科2年

ゴスペルは、歌によって神を賛美するキリスト教の音楽です。宗教音楽といっても、決して特殊なものではなく、その力あふれる歌声は、宗教の枠を越えて多くの人々を魅了しています。そして、そのリズムと歌詞、力強いビートに身をゆだねながらキリスト教のこころに触れられるのも、大きな魅力ではないかと思います。

現在私たちは、ゴスペルの第一人者として知られるラニー・ラッカー先生からレッスンを受けています。厳しい面を持ちながらもユーモアがあり、ゴスペルを心から愛する先生のレッスンは、他では経験しがたい熱気に満ちていて、その人柄に惹かれて入隊したメンバーも少なくありません。

有志の学生によって2010年に結成されたゴスペル・クワイアは、同年のクリスマス・ツリー点火祭ではじめて奉仕を行いました。2011年4月から宗教センター所属の正式な学生団体になり、より充実した活動ができるようになった今、メンバーのモチベーションは本番を控え、日に日に高まっています。当日は精一杯こころを込めた歌声をお届けしますので、どうかご期待ください。



金子 さちさん
第36回オール青山メサイア公演実行委員会 委員長
青山学院管弦楽団所属 文学部日本文学科4年

「オール青山メサイア公演」で演奏するヘンデル作曲の「メサイア」は、聖書の言葉を歌詞にイエス・キリストの生涯の中の3つの大きな出来事を描いた楽曲です。メシア(救世主)の到来から受難、復活、そして永遠の命までの軌跡が、2時間半にわたる曲の中で壮大に表現されています。管弦楽の伴奏をベースに合唱、独唱で構成され、「音画法」という独特の作曲技法が用いられることによって巧みな場面描写がなされています。例えば「受難」では暗い曲調に鋭いリズム、「昇天」や「降誕」では心休まる美しいハーモニー……と、曲はイエス・キリストの生き様がダイナミックに表現されています。当日お配りするパンフレットで全体の構成と解説を読んでいただければ、さらに大きな感動と出会えることと思います。聴き所は、第2部の終章を飾る「ハレルヤ」。3月の東日本大震災による傷が未だに癒えない今、希望に満ちた「ハレルヤ」の大合唱で、一人でも多くの方に安らぎをお届けできればと思います。



現在は、合唱パートの各団体と私が所属する管弦楽団がそれぞれ練習を行っていて、12月には全体練習を始めます。ご来場いただくみなさんに感動をお届けできるように、この大作に挑むメンバーが一丸となって、残り2カ月全力を尽くしていきます。

その他の学生団体による活動予定

- 2011年 11月
 - 青山フォークウェイズ 新人コンサート
 - 青山アナウンス研究会 後期発表会
 - E.S.S チャーチル杯スピーチ大会
 - オーケストラ部 第99回定期演奏会
 - 競技ダンス部 天野杯争奪学生競技ダンス対抗戦 東部日本学生競技ダンス選手権大会I部戦
 - 箏尺八研究会 晴風風玄奥尺八演奏会
 - 美術部 デザインフェスタ出展
- 2011年 12月
 - ギターアンサンブル部 定期演奏会
 - 競技ダンス部 全日本学生競技ダンス選手権大会 ソノバ杯争奪学生競技ダンス選手権大会
 - グリーンハーモニー合唱団 定期演奏会
 - 長唄同好会 全国学生長唄連盟演奏会
 - リズムマンドリン 定期演奏会
 - ロイヤルサウンズジャズオーケストラ 定期演奏会
 - オラトリオソサエティ合唱団 KAY合唱団演奏会
 - 聖歌隊* クリスマスコンサート
 - ハンドベル・クワイア* クリスマスコンサート
- 2012年 1月
 - チェックメイト部 日本将棋連盟オール学生個人戦

※上記の活動予定は、今後変更となる可能性があります。
お問い合わせ先 学生部学生課 TEL. 03-3409-7835
*宗教センター TEL. 03-3409-6537



陸上競技部

(長距離ブロック)

学生3大駅伝すべてに出場!

10月10日に開催された出雲駅伝に続き、
11月の全日本大学駅伝、
1月の箱根駅伝に出場します。

全日本大学駅伝対校選手権大会(2年ぶり2回目)
11月6日(日)午前8時10分スタート予定
熱田神宮(愛知県名古屋市中区)から伊勢神宮(三重県伊勢市)までの8区間106.8km
テレビ朝日系列で放送予定
東京箱根間往復大学駅伝競走(4年連続17回目)
往路:2012年1月2日(月)午前8時スタート予定 読売新聞旧東京本社前(東京都千代田区)から
箱根町芦ノ湖駐車場(神奈川県箱根町)までの5区間108km
復路:2012年1月3日(火)午前8時スタート予定 箱根町芦ノ湖駐車場(神奈川県箱根町)から
読売新聞旧東京本社前(東京都千代田区)までの5区間109.9km
日本テレビ系列で放送予定
陸上競技部(長距離ブロック)ウェブサイト http://homepage2.nifty.com/agu_tf/

バスケットボール部 (男子)

「大 学王者」、ここにあり!

10月末までの日程で行われている
関東大学リーグ戦は優勝に向けて邁進中。
残る全日本学生選手権での勝利で2年連続4冠達成へ!



全日本学生バスケットボール選手権大会
11月21日(月)～11月27日(日)
全国の大学から推薦された32大学が学生日本一を目指して競い合います。
[会場・交通アクセス]
●国立代々木競技場第二体育館 JR原宿駅より徒歩5分、東京メトロ 明治神宮前駅より徒歩5分
●墨田区総合体育館 JR錦糸町駅より徒歩3分
全日本大学バスケットボール連盟 <http://www.jubf.jp/>
全日本総合バスケットボール選手権大会(オールジャパン)
プロリーグ(JBL、JBL2)、社会人、高校生、地方ブロックから推薦された32団体が
日本一を目指して競い合います。
2012年1月1日(日)～1月9日(月)
[会場・交通アクセス]
●国立代々木競技場第一体育館・第二体育館
JR原宿駅より徒歩5分、東京メトロ 明治神宮前駅より徒歩5分
日本バスケットボール協会 <http://www.japanbasketball.jp/>
バスケットボール部(男子)ウェブサイト <http://homepage3.nifty.com/agu/>

居合道部

今年 は全国制覇を目指します!



今年度の目標である全日本団体
優勝に向けて部員が一丸となり稽古
に臨んできました。本大会では、日々
の稽古の成果を出し切りたいと思い
ます。一試合、一試合を全力で臨ん
でいきますので、ぜひ応援に来てく
ださい。

全日本学生居合道大会
日程:11月20日(日)(浦安市総合体育館)
開会式:10時～
個人戦:10時30分～
団体戦:13時～
[会場・交通アクセス]
●浦安市総合体育館 JR舞浜駅より徒歩10分
居合道部ウェブサイト <http://www.agu-iai.com/>

10月

アイススケート部(ホッケー部門) 関東大学アイスホッケーリーグ戦(12月まで)
アメリカンフットボール部 秋期リーグ戦(12月まで)
サッカー部 関東大学サッカーリーグ戦(12月まで)
準硬式野球部 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦(11月まで)
ラグビー部 関東大学対抗戦Aグループ公式戦(12月まで)

11月

アイススケート部(フィギュア部門) 関東学生フィギュアスケート交流戦
居合道部 全日本居合道大会
関東甲信越居合道大会
空手道部 全日本大学空手道選手権大会
剣道部 関東学生剣道新人戦大会
拳法部 全日本学生拳法選手権大会
硬式庭球部 関東大学対抗テニス選手権大会(12月まで)
自動車部 全日本学生自動車運転競技選手権大会
射撃部 関東学生新人大会
柔道部 全日本学生柔道体重別団体優勝大会
少林寺拳法部 少林寺拳法全日本学生大会
ソフトテニス部 東都大学シングルス選手権
卓球部 東京選手権東京都予選(ダブルス)
軟式野球部 東都大学軟式野球連盟新人戦
バスケットボール部(男子) 全日本大学バスケットボール選手権(12月まで)
馬術部 全日本学生馬術大会
バドミントン部(男子) 関東学生バドミントン新人選手権
バドミントン部(女子) 東京都学生バドミントンミックスダブルス選手権大会
関東学生バドミントン新人選手権大会
パワーリフティング部 関東学生パワーリフティング選手権大会
フェンシング部 全日本学生個人選手権大会
陸上競技部(長距離ブロック) 全日本大学駅伝対校選手権大会
レスリング部 全日本大学選手権

12月

合気道部 全国学生合気道演武大会
弓道部 学生弓道合同研修会
拳法部 日本拳法東日本総合選手権大会
水泳部 関東学生ウィンターカップ公認記録会
卓球部 東京選手権東京都予選(シングルス)
チアリーディング部 全日本学生チアリーディング選手権大会
馬術部 全日本学生選手権大会
バドミントン部(男子) 関東学生バドミントン新人選手権
バドミントン部(女子) 全日本学生バドミントン選手権大会
バレーボール部(男子) 全日本バレーボール大学男子選手権大会
バレーボール部(女子) 全日本バレーボール大学女子選手権大会
フェンシング部 JOC関東学生予備選
洋弓部 関東学生アーチェリー連盟インドア個人選手権大会
レスリング部 天皇杯全日本選手権

2012年
1月

アイススケート部(フィギュア部門) 日本学生氷上競技選手権大会
水泳部 東京都新春短水路水泳競技大会
バスケットボール部(男子) 全日本総合バスケットボール選手権
フェンシング部 JOCジュニアオリンピックカップ大会
陸上競技部(長距離ブロック) 東京箱根間往復大学駅伝競走

※上記の活動予定は、今後変更となる可能性があります。
お問い合わせ先 学生部学生課 TEL. 03-3409-7835

青山学院大学では、60以上の運動系団体が活動しています。
これからのシーズンは、全日本選手権やリーグ入れ替え戦など、
注目の戦いも数多く繰り広げられる大切な期間。
選手たちにとっては、多くの方の声援が何よりの力になります。
ぜひ応援に足を運んで、選手たちの熱い想いを共にしてください。

バレーボール部(男子)

今年 最後の公式戦、2011年の集大成です



全日本バレーボール大学男子選手権大会
12月6日(火)10時～ 予選グループ戦
12月7日(水)10時～ 予選グループ戦
12月8日(木)10時～ 決勝トーナメント
12月9日(金)10時～ 決勝トーナメント
12月10日(土)10時～ 決勝トーナメント
12月11日(日)10時～ 3位決定戦・決勝戦・閉会式
※対戦相手・会場は全日本大学バレーボール連盟ウェブサイトに掲載される予定です。
全日本大学バレーボール連盟 <http://www.volleyball-u.com/>
[会場・交通アクセス]
●川崎市教育文化ホール 川崎駅(JR・京浜急行線)東口より徒歩15分
●川崎市とどろきアリーナ 武蔵小杉駅(JR・東急東横線・目黒線)北口よりバスで約7分
バレーボール部(男子)ウェブサイト <http://ameblo.jp/xxaguxx/>

バレーボール部(女子)

3年 ぶりの王座奪回を!

全日本バレーボール大学女子選手権大会
試合期間:12月5日(月)～12月11日(日)
※対戦相手・会場は11月13日以降に全日本大学バレーボール連盟
ウェブサイトに掲載される予定です。
全日本大学バレーボール連盟 <http://www.volleyball-u.com/>
[会場・交通アクセス]
●川崎市教育文化ホール 川崎駅(JR・京浜急行線)東口より徒歩15分
●川崎市とどろきアリーナ 武蔵小杉駅(JR・東急東横線・目黒線)北口よりバスで約7分
バレーボール部(女子)ウェブサイト
<http://www.aogaku-volleyball.com/>

私たちは毎年全日本インカ
レで優勝することを最大目標
にしています。3年前に優勝し
て以来遠ざかっていき、今年
こそ優勝を奪還したいと努力
してきました。正確なプレー
を心掛け、粘り強いバレーを
展開し、日本一を目指します。
ぜひみなさん、会場に足を
運んで私たちにパワーをください。応援よろしく願いいたします。



サッカー部

関東 大学サッカーリーグ戦 1部



第17節 11月2日(水)15時30分～ vs 専修大学
●ニッパツ三ツ沢公園球技場 横浜駅(JR・京浜急行線・相鉄線)西口よりバス「三ツ沢総合グランド入口」下車、徒歩2分
第18節 11月6日(日)13時50分～ vs 順天堂大学
●青山学院大学緑が丘グラウンド JR 淵野辺駅よりバス「和泉短大前」下車、徒歩5分
第19節 11月13日(日)11時30分～ vs 国士館大学
●平塚競技場 JR 平塚駅北口よりバス「平塚球場」下車、徒歩5分
第20節 11月19日(土)11時30分～ vs 中央大学
●西が丘サッカー場 都営地下鉄三田線 本通沼駅より徒歩10分
第21節 11月26日(土)13時50分～ vs 明治大学
●駒沢オリンピック公園総合運動場第二球技場 東急田園都市線 駒沢大学駅より徒歩15分
第22節 12月3日(土)13時50分～ vs 駒澤大学
●青山学院大学緑が丘グラウンド JR 淵野辺駅よりバス「和泉短大前」下車、徒歩5分
サッカー部ウェブサイト <http://www.aogaku-soccer.net/>

ラグビー部

11月以降の対抗戦日程

関東大学対抗戦
11月5日(土)14時～ vs 日本体育大学 (江戸川区陸上競技場)
11月12日(土)12時～ vs 筑波大学 (麻溝運動公園競技場)
11月27日(日)12時～ vs 成蹊大学 (埼玉県熊谷ラグビー場)
[会場・交通アクセス]
●江戸川区陸上競技場 東京メトロ 西葛西駅より徒歩15分
●相模原・麻溝運動公園競技場 JR 原宿駅より徒歩20分
●埼玉県熊谷ラグビー場(熊谷スポーツ文化公園)
JR 熊谷駅北口3番乗り場より国際十王バス「赤城神社前」下車、徒歩5分
ラグビー部ウェブサイト <http://www.aogaku-rugby.com/>

今年度のラグビー部は全国
大学選手権出場を目標に部
員一同練習に励んでいます。
昨年の入れ替え戦に勝利
し、新たに対抗戦Aグループ
という強豪校が揃う舞台で戦
うにあたって、体格で劣る僕
達は基本スキル、状況判断と
いったところを大事にし、日々
の練習を行ってきました。



今回の対抗戦ではチャレンジャーとして、ここまで追求してきた青山学院のラグ
ビーを存分にパフォーマンスしたいと思います。

21世紀青山キャンパスのシンボルとなる「大学17号館」―青山キャンパス再開発進行状況―

青山キャンパスでは、ツインタワーの新校舎「大学17号館」の建設が進んでいます。東日本大震災の影響による資材の遅れや電力事情などにより、当初計画していた2012年1月竣工の変更を余儀なくされましたが、10月に上棟されるという決定がなされて以降は順調に工事が進んでおり、2012年4月上旬の竣工を見込んでいます。その後、設備などの整備、既存校舎からの引越しを経て、段階的に同館の使用が開始されます。

17号館は6階と12階の2棟からなり、豊かな緑に囲まれた景観をいかして、自然との共生を考慮しています。また居心地の良い空間づくりをコンセプトとしており、建物内には各種教室や専門職大学院施設の他、学生食堂、学生関連事務窓口、国際会議場にも使える大講義室などが設置されます。また各階にラウンジスペースを教室隣りや踊り場に設置し、グループ学習や学生が集うことの出来る環境を整えます。

現在の学生食堂に加えて、17号館1階に新しく学生食堂を開発し、座席数が約1,000席増加します。新しいメニューも用意する予定です。また2階にはこれまでキャンパスの各校舎に点在していた学生窓口を集約して、より利用しやすくします。

大講義室は低層棟の6階に作られ、ロビー・ホワイエからは緑のキャンパスを望むことができます。座席数562席、4か国語同時通訳設備や大型プロジェクトを備えた本格的な国際会議場仕様で、第2代青山学院院長 本多庸一（1848～1912）にちなんで、「本多記念国際会議場」と名付けられることが決まっています。

21世紀の青山キャンパスのシンボルとなる17号館が間もなく誕生します。

17号館完成後も更に続く青山キャンパスの再開発

大学17号館の完成後、2013年から新たに約7,000名多くの学生が青山キャンパスで学ぶことになるのに備えて、キャンパスの既存校舎の耐震工事や大規模改修が予定されています。

大学1号館から進路・就職センターと学生部が17号館に移り、1号館には耐震補強を施した上で購買会とラウンジが設置されます。また銀杏並木から17号館に行くために、1号館正面入口から17号館に抜ける新しい通路を設けます。この夏に耐震工事を行った大学2号館には、現在1階にだけ設置されている公開パソコン室を2階にも増設し、3階には情報実習室を新たに設けるなど、情報施設の充実をはかります。

正門近くにある7号館の学生ロビーは、そこからキャンパスのどこにでもつながるラウンジ兼イベントスペースとして改装されます。同じく17号館に移転する学務部教務課・教職課程課のある8号館1階には、大学図書館に近接しているため図書閲覧スペースと、15号館のAVライブラリーが移設され、個人学習に適した環境が整います。

この他にも音楽系部室・課外活動室の新設や体育館地下のフィットネス施設改修など、さまざまな計画が進んでいます。また2013年度以降の次期再開発計画として、本学の新しい知のセンターとなる大学新図書館の建設が構想されています。

これらの工事は授業や研究に影響を与えないよう、春期・夏期の休暇期間を利用して行われます。今後の具体的な改修・再開発計画が決まり次第発表してまいります。



社会とともに常に進化を続ける学び。2012年度、社会情報学部の新カリキュラムがスタート!



社会情報学部長
稲積 宏誠
教授

2012年4月、開設から4年を迎え完成年度となる社会情報学部で新カリキュラムがスタートします。これまで社会情報学部では、さまざまな領域が絡み合う現実の諸問題を発見・解決できる人材育成を目指してきましたし、この考え方は今後も変わりません。

従来のカリキュラムも社会からの要請に十分応えることができると自負していますが、その上で「何を専門に学び」「どのような力を身につけて」「何ができる人材になるか」という流れをより明確に意識してもらえるように、新たに3コース制を導入することとしました。

実社会で起こっているさまざまな問題は、単一の領域だけに関わるものではありません。人間の本質に関わる「心理学」や「コミュニケーション学」、社会の動きをひも解く「経済学」や「社会学」、そして情報化社会の根幹となっている「情報科学」や「数理科学」といった領域が重なり合うところにこそ、問題の本質があります。そこで、2つの領域が重なり合う部分（リエゾン領域）を、「社会・情報」「社会・人間」「人間・情報」の3コースで専門領域として学べるように設定しました。これにより、各リエゾン領域の問題に対処するための科目を効率的に選択することができ、社会へ出て即戦力として問題解決に取り組める力を確実に身につけることができるようになります。つまり、学生が各々の興味や関心に応じて、何を学び将来どんな人材として社会に出て行くかを明確に意識して学べるようにするのが、新カリキュラムの狙いです。

ただし専門領域といっても、コースの中で更に特定の分野に重点を置くなど、柔軟に科目を選択できるようにしているので、幅広い学び方が可能です。現実の問題に対処するために、社会科学的なアプローチもデータ分析のような数学的なアプローチも学習するので、高校までの文系・理系の区分けも関係ありません。今、現実社会で起こっている問題に関心を持ちその解決に取り組んでみたいと考えている人に対し、実践的なスキルを提供するのが社会情報学部の学びなのです。



社会情報学部
石田 博之
教授

新しいカリキュラムでは、1年前期に人間・社会・情報の3領域すべてが重なった部分（フルリエゾン）の基礎を学ぶ3科目を必修としています。「ソリューション入門」では、各領域を専門とする教員が協力して、リエゾン領域や社会情報学部での学びの概要をわかりやすく解説します。「ソリューション応用」では、各リエゾン領域において社会で活躍している人を招き、現実どのような問題が起き、それをどのように解決しているのかを

お聞きすることで、学生が卒業後のイメージを明確に持てるようにします。そして、「社会情報体験演習」ではプログラミング、株式シミュレーション、統計学で用いられる正規分布などの基礎を体験的に学びます。例えば、自分でプログラミングしてロボットを動かしてみることで、学部4年間の学びのゴールと実社会への適応を体験的にイメージしてもらおうというわけです。

さらに、1年後期には人間・社会・情報それぞれの基礎を学ぶ「人間科学概論」「経済学概論」「情報科学概論」といった科目も必修とし、2年次以降、どんな専門分野に進んでも問題ない基礎力を確実に養います。このように、1年次で社会情報学部の学びの全体像を理解し、2年次では各学生が自分の目指す方向を模索し、3年次から各リエゾン領域のコースを選択することになります。

各コースの学びで特徴的なのは、異なる分野の教員が協力し合い1つの授業を受け持つことです。例えば、「社会」と「情報」が重なるリエゾン領域の「情報産業論」という科目では、情報・エネルギー・金融・観光などの教員が協力し合うことで、例えば「スマートグリッド」といったITを使った最新の省エネ技術などについて学ぶことができます。授業形式も、それぞれの教員が専門分野について講義することもあれば、1つのテーマに対して異分野の教員が学生の前でディスカッションを繰り広げるということも考えられます。こうした授業によって、複数の領域にまたがる問題への関心を高め、複雑に絡み合った実社会の問題に幅広く対応できる力を培います。

社会・人間コース (ソーシャル・ヒューマンコース)

- 基盤科目
 - ★合理的思考と社会行動
 - 社会心理学
 - ワークショップマネジメント
- その他の科目
 - 社会学／現代の世界と日本／コミュニケーション心理学
 - ジャーナリズム／意思決定と実践／確率統計 他

フルリエゾン

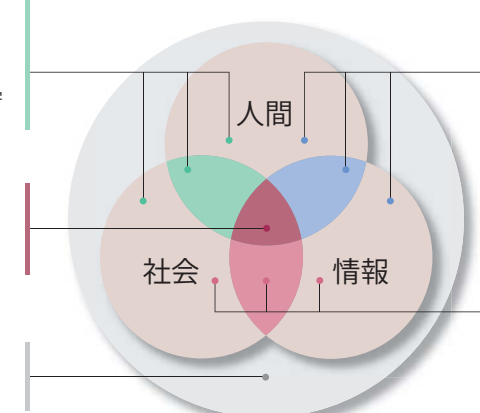
- ソリューション入門／社会情報体験演習
- ソリューション応用／人間科学概論／経済学概論
- 情報科学概論

すべての学びの基礎となる科目

- イングリッシュコミュニケーション／コンピュータ実習
- 統計入門／コミュニケーション基礎

新カリキュラムでの科目

★は、新カリキュラムの一番の特長である、専門領域の異なる2人の教員が協力して作り上げるコラボレーション型授業です。



人間・情報コース (ヒューマン・インフォメーションコース)

- 基盤科目
 - ★情報デザイン
 - マルチメディア学習論
 - ネット社会とコミュニティ
- その他の科目
 - ヒューマンインタフェース／メディアコミュニケーション
 - メディア論／メディアコンテンツ制作
 - コンテンツマネジメント 他

社会・情報コース (ソーシャル・インフォメーションコース)

- 基盤科目
 - 情報社会論
 - ★情報産業論
 - 情報リスク論
- その他の科目
 - 広報論／リスクマネジメント論／プロジェクトマネジメント
 - システム分析・設計基礎／情報倫理／情報化社会と法 他

※科目名は現在の予定であり、実際には異なった科目名になる可能性があります。

- | | |
|---|---|
| 3領域すべてに共通する数学・統計の素養を身につける基礎科目や、人間・社会・情報それぞれの専門領域を学ぶ科目も用意しています。 | ●基礎科目
社会数理解入門／経済数学／データマイニング／データ分析／社会統計／社会調査基礎 他 |
| | ●人間領域の科目
人間科学研究法／認知心理学／学習心理学／文化心理学／スポーツと心の科学 他 |
| | ●社会領域の科目
環境エネルギー論／マクロ経済学／ミクロ経済学／国際ファイナンス／コーポレートガバナンス／インベストメント 他 |
| | ●情報領域の科目
プログラミング基礎／データベース基礎／情報システム計画／ウェブコンテンツ作成演習／ネットワーク構築演習 他 |

10月以降の進路支援プログラムについて

大学卒業後の進路は、就職（企業・公務員・教員）、大学院への進学、各種資格取得試験準備と多様化しています。青山キャンパス 進路・就職センターならびに相模原キャンパス 進路グループでは、学生のみなさん一人ひとりの多様な進路に対応した、柔軟で的

確なキャリア・サポートを目指しています。

10月からは3年生に向けた進路支援行事が本格的にスタートします。納得のいく進路選択ができるよう、年間230を超える独自のプログラムやスタッフによる個別相談を積極的に活用してください。

10～12月の主な進路支援行事

10月	11月	12月
マスコミQ&A(青山)	グループディスカッション対策実践講座(青山・相模原)	業界研究企業セミナー(青山)
履歴書・エントリーシート書き方講座(青山)	面接対策講座(青山)	グループ模擬面接(青山)
マナー講座(青山)	4年生内定者トーク&質問会(青山)	教員選考学内説明会(青山)
女子学生のための就職講座(青山)	エントリーシート対策講座実践編(青山・相模原)	教員採用模擬試験(青山)
卒業生による業界研究(青山)	グループ面接対策講座実践編(青山)	公務員合格者報告会(青山)
業界・職種発見講座(青山)	就職筆記試験対策講座(青山)	4年生弱点補強講座(青山)
公務員業務説明会(青山)	4年生弱点補強講座、学内セミナー(青山)	業界研究企業セミナー(相模原)
4年生弱点補強講座、学内セミナー(青山)	内定者による相談会(相模原)	学内合同企業セミナー(相模原)
一般常識テスト対策セミナー(相模原)	職種研究セミナー(相模原)	4大学合同模擬グループディスカッション・グループ面接(相模原)
個別業界研究講座(相模原)		
就職筆記試験対策講座(相模原)		

※上記の他にもさまざまな進路支援行事を開催しています。日時・場所などの詳細は学生ポータルや掲示板、Web Ashにて確認してください。

エントリーシート対策講座

就職活動における第一関門はエントリーシートの突破です。そのために必要な適正検査、自己分析、自己PRからエントリーシートの作成まで系統立てたプログラムを準備しています。自己PRを言語化することは、面接対策にも必須です。

面接試験対策講座

面接試験に苦手意識を持っている学生は多いようです。面接の心構え、採用担当者からの評価のポイントなどを紹介します。

また実際に経験してみる模擬面接も準備しています。

OB・OGによる就職支援行事

本学の卒業生による就職活動支援行事です。校友会、青山会ネットワーク等のOB・OGが各業界の仕組みや今後の展望などを説明します。個別質問会は、いわば学内でできるOB・OG訪問ともいえるものです。

4年生による就職活動体験報告会

就職活動を終えた4年生がその体験を話し、

みなさんが率直な質問をぶつけるという貴重な場です。諸先輩方が就職活動をどう乗り切ったかを聞くことは、みなさん自身の活動の参考になるでしょう。

業界研究講座

就職活動は企業を知ることから始まります。業界研究の進め方、各業界の現状を紹介します。特にマスコミ業界、航空業界などでは青山ならではの人脈を生かした講座を準備しています。

● 本学独自の進路就職支援システム「Web Ash」を活用してください

説明会等の案内を閲覧できるだけではなく、業種や職種、都道府県別に求人票を検索することができます。内定者の残した企業別の入社試験報告、公務員試験合格者報告も貴重な資料です。その他にもインターンシップ情報の提供、企業ごとの内定者アドバイザーリストの閲覧や学内行事欠席者のための動画配信等、多くの機能を備えています。学内の情報端末、パソコン室のみならず、学外からも終日閲覧が可能です。



● 個別相談・資料室の利用

本学ではスタッフによる個別相談に力を入れて取り組んでいます。「エントリーシートが通らない」「業界研究をどう始めたらよいのか」「面接が苦手」などの悩みに対して、共に考え話し合うことで解決策を導き出していきます。就職活動の悩みを一人で抱え込まずに、気軽に相談にきてください。

青山キャンパス 進路・就職センター(1号館1階)

	事務相談窓口	資料室
月・水・金	9:30～16:00 17:00～19:00	9:00～19:00
火・木	9:30～16:00	9:00～18:00
土	9:30～12:00	9:00～13:00

※青山キャンパスの受付方法は掲示板、Web Ashで確認してください。

● 保証人対象就職ガイダンスの映像配信

9月21日(水)、首都圏在住の3年生保証人のみなさまを対象とした就職ガイダンスを開催しました。台風の接近に伴う交通機関の乱れの中ご出席いただいたみなさまには、あらためて御礼申し上げます。なお、当日の様様を大学ウェブサイトで配信しています。

相模原キャンパス 進路グループ(B棟1階)

	事務相談窓口	資料室
月～金	9:00～11:30 12:30～15:05 16:05～17:00	
土	9:00～11:30	

若い力で地域の防犯に取り組む 学生防犯ボランティア団体「Peace Corps」発足!

江尻 真明君 相模原警察署からのボランティア募集の呼びかけがきっかけで、2011年7月10日(日)に、相模原キャンパスの学生による防犯ボランティア団体「Peace Corps」が発足しました。私は元々ボランティアや警察の仕事に興味があり、いい経験ができると思って応募しました。

川井 佑真君 私も将来は警察官を目指しているので、普段は触れることのできない警察の仕事と関わりが持てる活動がしてみたくて参加を決めました。

江尻 具体的な活動内容は、防犯パトロールと市民の防犯意識の啓発で、主にキャンパスや淵野辺駅の周辺で活動を行っています。

川井 Peace Corpsとしての初仕事は、淵野辺駅周辺でひたくり防止を呼びかけるティッシュ配りのイベントへの参加でした。私はこれまでボランティア経験がなく最初は緊張しましたが、終わってみるととてもすがすがしい気分です。「やってよかった」と心から思いました。

江尻 夏休みには鍵の交換・修理を行う会社に出向いてドアや窓の防犯対策についてお話を伺うなど、知識の向上に取り組んだり、8月30日(火)・31日(水)には、僕たちを支援してくれる神奈川県警本部生活安全サポート班が行った合同防犯研修にも参加。世界的な防犯ボランティア団体「ガーディアン・エンジェ



ルス」の方ともお話ができ、一緒に活動する機会を設けようと協議しているところです。今後は、11月に「さがみはら市民活動サポートセンター」の協力のもとで行われる相模原市のイベントに参加し、市民の方々に防犯意識を高めていただく活動に取り組んでいきます。

川井 また、地域のお祭りでの防犯パトロールや、キャンパス周辺の清掃活動、他のボランティア団体との連携なども模索しながら、活動の幅と規模を広げていければと考えています。警察主導ではなく、私たちのような若い学生が活動し市民の側から防犯意識を牽引していくことが、このボランティアの一番の意義だと思います。

江尻 現在のメンバーは6人ですが、ブログやイベントへの参加で知名度を高めてメンバーを増やし長く継続できる団体にしていきたいですね。それから、私たち2年生は来年から青山キャンパスに移るので、青山でもさらに発展的に活動していけたらと考えています。

Peace Corpsの最新情報はこちらのブログから
<http://peacecorps2011agu.blog.fc2.com/>

(左より)

江尻 真明君 法学部法学科2年 Peace Corps隊長
川井 佑真君 法学部法学科2年 Peace Corps副隊長

「ワールド・グリーン・チャレンジ2011」ソーラーカー部門で、 「AGU Aglaia」がアドベンチャー・クラス第1位を獲得!

理工学部電気電子工学科 **林 洋一**教授

2011年8月10日(水)～12日(金)に秋田県「大湯村ソーラースポーツライン」で開催された「ワールド・グリーン・チャレンジ(WGC)2011」のソーラーカー部門、アドベンチャー・クラスにおいて、当研究室のソーラーカー「AGU Aglaia」が第1位を獲得しました。

当研究室では、エネルギーの制御装置や制御用組込みソフトウェアの研究を行っており、その実践の場としてソーラーカーの開発に取り組んでいます。本学のソーラーカープロジェクトの歴史は長く、1992年に初めてのソーラーカーを開発。以後、WGCやオーストラリアで行われる世界大会「World Solar Challenge」にこれまで4回参加してきました。

現在のチームは学部の4年生11人、大学院生8人。レース参加の基本姿勢は“成績にこだわらない”ことです。今年のWGCでは1位を獲得することができましたが、成績以上に学生が自ら考えそれを実践す



左より 林洋一教授、宮崎将司さん

る場としての意義を重視しています。レースにあたってはチーム全員でのキャンプもあり、研究室の団結力も高まり、学外の方と接する機会も多いため、社会性を培う上でも学生にとって貴重な経験の場となっています。

理工学研究科電気電子工学コース博士前期課程2年 **宮崎 将司**さん
大学4年生のときにソーラーカープロジェクトに参加し、今年で3年目。昨年、一昨年はタイヤの故障などで納得のいく結果が得られず、悔しい思いをしました。今年は私にとって最後のレースなので、過去の失敗を取り返す意味でも悔いの残らないよう全力で挑みました。今回はルール変更で、太陽電池やバッテリーの量を減らしたりしなければならず、配線や回路の変更などが非常に大変でした。連日チーム一丸で細かい作業や確認を行い、結果、故障もなくクラス1位を獲得できたことはとてもうれしく思います。

また、プロジェクトに携わったこの3年間に非常に多くのことを教えられました。例えばネジ1つとっても、種類や値段など多くのことに頭を使います。研究とは別に、こうした実践的な知識が身についたのは大きな収穫です。この経験を生かし、電気自動車のモーターの制御装置を開発する企業へ就職も決まりました。今後、後輩たちには「速度センサレス制御」など研究室の最新成果を応用しながら、更にソーラーカープロジェクトを発展させていってほしいと思います。

2011年度 給付奨学金・学業奨励賞

青山学院大学給付奨学金は、各学部・に所属する2年生以上の学生で、前年度において卓越した学業成績をあげ、かつ人物において優れている者を対象に、有為な人材の育成に資することを目的に学資金が給付されます。また学業奨励賞も同様の資質を持つ学生を対象に、学業奨

〈給付奨学金・学部〉

英米文学科／石井 千紘
英米文学科／奥津 悠介
フランス文学科／佐野 陽香
日本文学科／苔米地 綾花
史学科／渡辺 優子
教育学科／中島 和
教育学科／伊藤 藍
心理学科／川上 義剛
経済学科／鴨居 七生
経済学科／阿部 章人
経済学科／藤森 美咲
経済学科／谷口 央央
法学科／田沼 恵
法学科／黒川 結
法学科／木村 燦
法学科／西脇 芳織
経営学科／山崎 和子
経営学科／中島 大輔
経営学科／清水 友紀
国際経済学科／川口 勉
国際コミュニケーション学科／松尾 あずさ
国際コミュニケーション学科／林 美里
総合文化政策学科／西山 京子
総合文化政策学科／小嶋 万美子
総合文化政策学科／栗本 祥子
物理・数理学科／菅野 絵理奈
化学・生命科学科／上田 茜
電気電子工学科／齋藤 卓也
機械創造工学科／田中 洋輝
経営システム工学科／坂内 芽以子
情報テクノロジー学科／大門 和斗
社会情報学科／吉田 遼太郎
社会情報学科／田中 咲季
社会情報学科／村上 まどか
第二部英米文学科／露木 麻未
第二部英米文学科／菊池 信義

〈給付奨学金・外国人留学生〉

英米文学科／劉 佳偉
経済学科／虞 付佳
経済学科／顧 萃雯
経済学科／翟 露
法学科／趙 珉技
マーケティング学科／郭 善雨
マーケティング学科／權 純鎬
総合文化政策学科／金 チェリン

〈学業奨励賞〉

英米文学科／池田 成美
英米文学科／浜田 啓人
英米文学科／藤波 彩
英米文学科／阿部 なつ美
英米文学科／尾崎 綾
英米文学科／鈴木 美沙
英米文学科／細田 雅也
英米文学科／梶原 早紀
英米文学科／芹澤 葉子
英米文学科／渡辺 優理恵
フランス文学科／瀬上 由佳
フランス文学科／市川 美穂
フランス文学科／甲斐 千晶
フランス文学科／石川 奈奈
日本文学科／伊藤 英梨
日本文学科／竹端 慧美
日本文学科／中本 陽子
日本文学科／小野 かおり
史学科／早川 奈保子
史学科／加藤 哲史
史学科／中尾 裕一
史学科／藤山 恵実
教育学科／岩尾 京子
教育学科／金子 佳寛
教育学科／長田 綾
教育学科／小溝 和代
教育学科／近藤 美希
教育学科／嶋田 理衣

励に資することを目的に贈られます。

2011年度は6月15日(水)、青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂にて授与式が行われました。

心理学科／近藤 夏樹
心理学科／増田 千晃
心理学科／竹田 茉阿奈
経済学科／井田 隼人
経済学科／岩田 実穂
経済学科／田代 葉子
経済学科／千種 茜
経済学科／市川 大悟
経済学科／岡崎 聖
経済学科／白岩 奈津美
経済学科／中村 雄介
経済学科／柴田 愛
経済学科／林 恵輔
経済学科／横川 豊
現代経済デザイン学科／潮川 恵美
現代経済デザイン学科／土屋 真紀
現代経済デザイン学科／保志名 沙紀
現代経済デザイン学科／石丸 貴子
現代経済デザイン学科／姜 聲恩
法学科／大塚 彩加
法学科／奥津 彩夏
法学科／高橋 和那
法学科／高味 紗樹子
法学科／堀川 亜樹
法学科／金原 光俊
法学科／小松 亜由美
法学科／佐藤 佑
法学科／成田 翔哉
法学科／本間 健慈
法学科／嘉山 沙記
法学科／大伍 将史
法学科／高橋 良太
法学科／中山 愛香
法学科／西山 晴基
経営学科／後藤 百合香
経営学科／鈴木 彰人
経営学科／諷方 尚平
経営学科／竹房 将吾
経営学科／行村 真実子

経営学科／新井 雄己
経営学科／川西 麻美
経営学科／山口 透
経営学科／井川 拓樹
経営学科／塚田 瑞紗
経営学科／中山 むつみ
マーケティング学科／知見 亮
マーケティング学科／初又 友梨
マーケティング学科／佐藤 佑香
マーケティング学科／箱石 奈々
国際政治学科／根本 さつき
国際政治学科／生須 美輝
国際政治学科／原川 拓士
国際経済学科／小島 彩里衣
国際経済学科／魏 昶
国際経済学科／市瀬 寛和
国際経済学科／桑野 慎弓
国際コミュニケーション学科／河村 紗恵
国際コミュニケーション学科／小野 満美子
国際コミュニケーション学科／小出 研斗
総合文化政策学科／清水 香基
総合文化政策学科／永田 由香莉
総合文化政策学科／山崎 美佳
総合文化政策学科／大房 千紘
総合文化政策学科／勝又 君恵
総合文化政策学科／澤部 佳奈
総合文化政策学科／大野 七恵
総合文化政策学科／長谷部 美冠
総合文化政策学科／山口 円花
物理・数理学科／柏田 征臣
物理・数理学科／宮内 宏
物理・数理学科／保井 洋樹
化学・生命科学科／太田 直樹
化学・生命科学科／大場 妃香里
化学・生命科学科／岡部 有紗
電気電子工学科／有我 穰二
電気電子工学科／羽曾部 汐里
電気電子工学科／坂東 静
機械創造工学科／津野 裕太郎
機械創造工学科／竹木 佑美映
機械創造工学科／吉田 航
経営システム工学科／村上 孝二
経営システム工学科／白鳥 翔
経営システム工学科／小林 徹也
情報テクノロジー学科／佐野 友亮
情報テクノロジー学科／西島 愛
情報テクノロジー学科／山田 真実
社会情報学科／角田 萌子
社会情報学科／松川 愛
社会情報学科／須田 泰大
社会情報学科／三浦 永理香
社会情報学科／高橋 陽子
社会情報学科／藤井 絢子
第二部教育学科／遠藤 雄人
第二部英米文学科／寺本 優子
第二部英米文学科／宮本 朝子
第二部英米文学科／原 朱美

ドイツ・ケルン大学とデュッセルドルフ大学で 日独修好150周年記念国際会議

青山学院大学は、2010年2月から3月にかけて、デュッセルドルフ大学の前みちこ元副学長が来校した際、またケルン大学とはアクセル・フライムート学長が来校した際に、それぞれ留学生交換協定を締結し、すでに留学生の交換が始まっています。

このようにドイツ側の積極的な姿勢にあわせて動き出した本学と両大学との国際交流を推進するために、今年の日独修好150周年を記念して、国際会議を開く提案がなされ、本学も両大学に協力して準備をし、9月に2つの国際会議が開かれました。この開催にあたっては、国際交流基金の支援を得ました。また、この4月からケルン日本文化会館の館長に就任した手塚和彰法学部教授にも、会議の開催にご協力いただきました。

ケルン大学の国際シンポジウムは「Dynamics of Traditional Research Societies in a Rapidly Changing World」と題して、9月8日(木)から10日(土)にわたって開かれ、日本から16大学の学長・副学長が参加したのをはじめ、V.シュタンツェル駐日ドイツ大使や大勢の日独の研究者が参加した大規模なもので、本学からは伊藤定良学長、真鍋一史総合文化政策学部教授と私(土山)が参加しました。伊藤学長は「日独間の研究協力について」のパネルに出席し、真鍋教授は同大の経済・社会科学部が企画したワークショップの司会を、私は「国際政治における信頼」をテーマとするラウンドテーブルで報告を行い、会議はすべて英語で進められました。

デュッセルドルフ大学の会議「Impact of Globalization in Germany and Japan」は9月22日(木)に本学との共催で開かれ、マイケル・ピーパー学長もご出席されました。本学からは手塚和彰教授、青木保特任教授、関英昭法学部教授と私が出席し、それぞれ報告を行いました。来年4月に同大学のピーパー学長と2人の副学長が本学を訪問する予定で、今後両大学がどのように国際交流を進めていくかについて議論することを望んでおり、本学への期待の高さが伺えます。

(副学長 土山 實男 記)

2011年度の司法試験において、本学法務研究科から8名の合格者を輩出

制度の改定から6年目を迎えた2011年度の司法試験の合格者が、9月8日(木)に発表となり、全体の合格率は23.54%でした。本学大学院法務研究科(法科大学院)からは8名が合格しました。9月14日(水)には合格した8名を囲んで合格祝賀会が催されました。

法科大学院では、法律基本科目を拡充するとともに知的財産法をはじめとする先端科目を強化し、さらに「地の塩、世の光」というスクール・モットーに適合する法曹倫理に関連する科目を大事にしています。また、在学生・修了生を問わず、学生の求めに応じて自主ゼミを実施し、司法試験に向けての学修支援を充実させています。

法科大学院を取り巻く非常に厳しい環境が今後も続いていく中で、高い職業的倫理観を備えて公共的利益を指向する、本学ならではの法曹を着実に輩出していきます。

石巻プロジェクトの竣工式を迎えて

10月2日(日)、宮城県石巻市のことぶき商店街で復旧竣工式が開催されました。ことぶき商店街は東日本大震災による津波で大きな被害を受けましたが、この復旧事業が7月23日(土)から9月14日(水)にかけてボランティア・ステーションの「石巻プロジェクト」として行われ、165名の青学生が参加しました。

ことぶき商店街は石巻市役所近くの中心アーケードから、少し入ったところにあります。多くの店が被災し、開店できない状態でしたが、案内していただいた方が本学の姉妹校である東北学院大学のOBで、そのつながりからことぶき町商店街の組合の方々をご紹介いただきました。その時はちょうど今後の商店街の方向性について話し合いをされているところで、かつて三陸沖地震を経験されていた組合の方々は、以前と同様に今回も、まず街をきれいにすることから始めようと大変意欲的に語っておられたのが印象的でした。この街の方々であれば、何かできるのではないかとこのところから「石巻プロジェクト」がスタートしました。

通常、距離150メートル、幅8メートルの商店街を完全にリニューアルするには1億円ほどかかります。しかし液状化と津波にさらされたブロックを掘り出して再利用し、実作業を青学生がボランティアとして担当した結果、5分の1の2,000万円で復旧することができました。今回参加してくれた青学生たちは、実質5週間にわたり、1週間交代で真夏の暑い中、また9月には台風による嵐の中でも仕事を続け、街路のブロックを撤去しては洗浄するという単純な作業を繰り返し、5週間で65,000個ものブロックを処理することができました。ヘドロの臭いが染みついていた街路ブロックも、一つひとつ丁寧に洗浄することにより、商店街としての清潔な雰囲気をもみがえらせることができ、総勢165名のボランティアの汗の結晶が実りました。

この「石巻プロジェクト」は、学生の送迎を職員が、朝と夜の食事を学生食堂の調理師がボランティアで協力してくださったことで達成できました。本当に学生たちと教職員が一体となって携わることができました。ご協力いただいたみなさまに心から感謝いたします。

(AGUボランティア・ステーション顧問 塚本 俊也 記)



震災直後



復旧作業の様子



復旧を終えて



復旧後



Aogaku Lecture ③

祝 祭 論 ― 祭りの身体



沖本 幸子
総合文化政策学部 准教授

何しろ名称がオメデタイので、学生たちは絢爛豪華な山車や、居並ぶ屋台を思い描いてやってくる。もちろんそうした見た目の華やかさも祭りの魅力の一つだが、私がこの講義を通して伝えたいのは、むしろ目に見えない祝祭性、祭りに参加している時に起こる独特の身体感覚についてである。身体感覚などというのは、資料を駆使し映像を駆使してもよくわからない。だから、講義としてはわかりにくいものになっているのかもしれないが、そういう危険を冒してでも、どうしても避けて通りたい。それは、その独特の感覚こそが日本の祭りのもっとも大切な、そして、魅力的な部分だと思うからだ。

ここでは、ごく身近な神輿の話をしてみることにしよう。今年、渋谷の金王八幡宮の祭礼で、百軒店の神輿を学生と一緒に担がせてもらった。町内から出て神社まで行き、「渋谷109」前で20基近い町神輿が大集結、その後、またそれぞれの町内へと戻っていく。ただそれだけのことなのだが、早朝から神輿を出し、担いでいる間に次第に日が高くなり、町内に戻る頃にはすっかり日も暮れて、思えば12時間近く神輿と一緒に過ごしていたことになる。

神輿は神様の乗り物で、神を喜ばせ、神の靈威をふりまくために担がれる。しかし、神輿を担ぐ時、そういう風に思っている人はほとんどいない。誰のためでも、何のためでも、ましてやお金のためにでもない。ただ祭りだから、祭り装束に着替え、休日一日返上して、朝から晩まで、大声でかけ声をかけ、肩にたこなどつくりながら担ぐのである。ところが、神輿の運行が終わる頃になると、晴れ晴れとした充実感と一体感、もう神輿ともお別れで、一年間は会えないのだという切なさ、名残惜しさが漂ってくる・・・。

百軒店の神輿では運行の節目に必ず木遣りをかけているが、夕刻、別れを惜しむように町内をめぐっていた神輿が、いよいよ渡御を終

え、人々の肩からおろされた時、最後の木遣りがかけられた。後で一人の学生が「最後の木遣り、よかったですね」と耳打ちしてきたが、確かに最後の木遣りは、神輿を取り囲む人々の声が一つになって、夕闇の町内にしみわたるようで、なんとも言えず良いものだったのである。

祭りの良さとは、こうしたところにあるのではなからうか。



そして、こういう感覚を生み出すために、各地の祭りはさまざまな仕掛けを作り出してきたように思われる。たとえば、祭りの舞や踊りには、シンプルな動きを繰り返すものが多い。確かに、見せる踊りとしては面白味に欠けるかもしれないが、長いこと同じ動きを繰り返す内に、無意識に体が動くようになり、一種のトランス状態に

陥っていく。ある種の陶酔がそこにはあり、神や、盆踊りであれば祖先とともに舞い踊っているような独特の感覚が生みだされる。長野県新野の雪祭りの舞い手に「足もとから、体がスーッと大きくなった気がする」とか「空想の世界にしているような気分になる」という話を聞いたことがあるが、それは、なんというか、圧倒的な体験と言えるだろう。

私たちは日々この世の価値観にしばられ、必要に迫られて生活しているが、祭りのひととき、そうしたものから解放され、もっと大きな何かに向かって生き直す機会が与えられる。そのとき私たちは、ぼんやりと、この世ならざるものたち、神々の存在を意識するのではなからうか。そして同時に、そこにつながる人々と生き合うことの大切さを思わされる。

祭りは神と人、あの世とこの世をつなぐメディアであり、人と人をつなぐメディアでもある。その土地の歴史や風土に合わせて実に豊かに美しく個性的に作り上げられてきた祭りたち。そうした一つ一つの祭りに寄り添いながら、祭りに託され、こめられてきたものたちをひもとき、伝えていかれるよう努力していきたい。



中世を中心に流行した田楽の楽器「びんざら」。今も各地の祭事で用いられる

INFORMATION

青山学院大学後援会報告

7月15日(金)、青山学院大学後援会評議員会(総会)がアイビーホール青年会館において開催されました。同後援会は、大学の教育および研究に必要な事業を援助する目的をもって設立された支援団体であり、青山学院大学に在籍する学生の父母ならびに保証人その他の有志によって構成されております。

主な事業は、下記の大学後援会予算案および決算報告書に示されているとおり、学生会活動補助等の学生活動に対する援助、首都圏並びに地区別に開

催されるペアレんツウィークエンド開催諸経費等その内容は多岐に渡ります。評議員会は毎年1回7月に開催され、前年度の事業報告および決算報告、当年度の事業計画および予算案が審議され、あわせて役員の選出が行われます。会長に岩元健司氏、副会長に酒井博昭氏、同じく副会長に橋本竹史氏をはじめ、新任・継続あわせて76名の役員が選出されました。

2010(平成22)年度
大学後援会決算報告書

収入の部 (単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
前 期 繰 越 金	7,983,865	7,983,865	0
会 費 収 入	109,190,000	110,603,000	△ 1,413,000
合 計	117,173,865	118,586,865	△ 1,413,000

支出の部 (単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生活関係			
学生会活動補助	30,500,000	26,994,185	3,505,815
学生会活動指導補助	14,000,000	13,280,000	720,000
保 険 料	19,420,000	19,412,050	7,950
奨学金事業補助	14,500,000	14,500,000	0
大学行事補助	1,500,000	1,297,840	202,160
アドバイザーグループ会費補助	1,000,000	670,000	330,000
ゼミナール活動等補助	1,000,000	500,000	500,000
教育環境整備補助	10,000,000	10,000,000	0
奨 励 金	500,000	485,901	14,099
後援会行事関係			
ペアレんツウィークエンド費	20,640,000	19,029,836	1,610,164
旅 費 交 通 費	100,000	60,000	40,000
会 議 費	1,200,000	994,474	205,526
消 耗 品 費	50,000	0	50,000
通 信 費	50,000	69,450	△ 19,450
そ の 他			
慶 弔 費	500,000	410,000	90,000
【 予 備 費 】	2,213,865	0	2,213,865
支 出 計	117,173,865	107,703,736	9,470,129
次 期 繰 越 金	0	10,883,129	△10,883,129
合 計	117,173,865	118,586,865	△ 1,413,000

2011(平成23)年度
大学後援会予算 (案)

収入の部 (単位:円)

科 目	2011年度予算(案)	2010年度予算	差 異	摘 要
前 期 繰 越 金	10,883,129	7,983,865	2,899,264	会費収入内訳
会 費 収 入	109,510,000	109,190,000	320,000	第1部 @6,000円 × 17,190名 = 103,140,000円 大学院 @3,000円 × 1,430名 = 4,290,000円 第2部 @4,000円 × 520名 = 2,080,000円
貸付金回収収入	2,000,000	0	2,000,000	体育会ラグビー部への貸付金第1回返済分
合 計	122,393,129	117,173,865	5,219,264	

支出の部 (単位:円)

科 目	2011年度予算(案)	2010年度予算	差 異	摘 要
学生生活関係				
学生会活動補助	30,500,000	30,500,000	0	学生会クラブ活動補助他
学生会活動指導補助	14,000,000	14,000,000	0	学生会指導者・監督への謝礼(交通費一部負担額)他
保 険 料	19,730,000	19,420,000	310,000	学生教育研究災害傷害保険(通学時含む)
奨学金事業補助	14,500,000	14,500,000	0	経済支援奨学金事業への補助
大学行事補助	4,500,000	1,500,000	3,000,000	大学行事補助
アドバイザーグループ会費補助	1,000,000	1,000,000	0	アドバイザー・グループ会費補助
ゼミナール活動等補助	1,000,000	1,000,000	0	ゼミナール活動補助他
教育環境整備補助	7,000,000	10,000,000	△ 3,000,000	教育環境整備補助
奨 励 金	2,500,000	500,000	2,000,000	ボランティア活動・研究発表優秀賞受賞者交通費補助他
後援会行事関係				
ペアレんツウィークエンド費	19,800,000	20,640,000	△ 840,000	首都圏及び地区別ペアレんツウィークエンド開催諸費用
旅 費 交 通 費	100,000	100,000	0	事務連絡交通費
会 議 費	1,200,000	1,200,000	0	評議員会・懇親会費用
消 耗 品 費	50,000	50,000	0	事務用消耗品
通 信 費	100,000	50,000	50,000	役員会・評議員会通信費
そ の 他				
慶 弔 費	500,000	500,000	0	学生・教職員の弔慰金
【 予 備 費 】	5,913,129	2,213,865	3,699,264	
合 計	122,393,129	117,173,865	5,219,264	

News Index 2011.8～10

2011年8月～10月の大学ウェブサイト「新着情報」の主なタイトルを掲載しています。

2011年8月

●本学理工学部が「かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア」に参加

2011年9月

●出岐雄大選手(社会情報学部3年)が、第26回ユニバーシアード夏季大会男子ハーフマラソン団体戦金メダルに貢献。個人でも6位に入賞
●理工学研究科2010年度卒業生の小山弘起さんが、「第12回日本感性工学会優秀発表賞」を受賞
●第5回「全日本ジュニア短歌大会」で文学部日本文学科日置俊次ゼミの学生14名

の作品が中根誠賞(選者賞)等に入賞

●矢澤 憲一准教授(経営学部)が「平成23年度日本会計研究学会 学会賞」を受賞
●陸上競技部(短距離)の鳥原早貴選手と佐藤大志選手が日本学生対校選手権で優勝

2011年10月

●浅岡龍徳助教(理工学部機械創造工学科)が、「IIR(国際冷凍学会) Young Researchers Award」を受賞
●福島原発事故に係る被災学生への特別措置について

「受験生のための学部説明会」開催報告

2011年度オープンキャンパスは夏期の電力事情を考慮し、対象となる学部を限定した「受験生のための学部説明会」に変更して、午前の部・午後の部に分けた事前申込制で開催しました。いずれの日程も多くの受験生にご参加いただき、5日間の総来場者数は18,946名(青山キャンパス16,053名 相模原キャンパス2,893名)でした。

全体の規模は縮小しましたが、各学部学科の紹介企画や入試問題解説、在学生ガイドによるキャンパスツアーなど、例年のオープンキャンパスとほぼ同等のプログラムを開催することができました。

本企画ではツアーガイドの他にも毎年多くの在学生にボランティアスタッフとして活躍してもらっています。毎年5～6月に募集の案内がありますので、今後も多くの在学生のみなさんご協力をお願いいたします。



在学生によるキャンパスツアー



各学部で模擬授業を開催

「大学案内2012」をウェブサイトで公開中

大学紹介・学部学科紹介や入学試験データ&ガイドを記載した「大学案内2012」を本学ウェブサイトで公開しています。下記のURLよりご覧ください(冊子版と一部内容が異なります)。

資料請求をご希望の方は、本学ウェブサイト「入試・入学案内(学部):大学紹介パンフレット請求方法」からご請求いただけます。



<http://www.aoyama.ac.jp/admission/college/reference/index.html>

「東日本大震災被災学生修学支援給付奨学金」のための募金に引き続きご協力をお願いいたします

青山学院では現在、「青山学院エバークリーン募金」のもとに、国際会議場整備、財政基盤確立、在学生支援の3種類の目的別募金をお願いしております。

このうち在学生支援については、東日本大震災により被災した202名の在学生を対象として、緊急支援奨学金給付を実施してきました。本誌第58号(7月発行)で掲載した額面から更に上積みされ、7月には約1,900万円の募金が集まり、第二弾の奨学金給付を予定しております。

既にお知らせしているとおり、本学では学費減免措置や教職員による奨学金を設立しておりますが、更なる支援の充実のため、引き続き「東日本大震災被災学生修学支援給付奨学金」のための募金を継続いたします。ご協力いただける場合は募金事務局までご連絡ください。

TEL. 03-3409-6208 FAX. 03-3409-3890

Club&Circle 9 理工宇宙科学研究部

仲間と星座を結ぶ体験には、大きな感動があります

月に一度行うキャンプ場での観測会を中心に、天体や宇宙に関する研究を行っています。春と夏には合宿を行い、宇宙航空研究開発機構(=JAXA)の施設見学をするなど、普段はなかなかできない活動にもチャレンジしています。また、青山祭と相模原祭でのプラネタリウムの作成・上映も毎年の恒例です。準備は夏からはじまる大がかりなもので苦労も多いのですが、実際にお客さんに見ていただいて、喜んでもらえたときには、その苦労が大きな達成感に変わります。この企画ではディスプレイの優れた展示に贈られる「装飾賞」を何度もいただいています。

星や星座は図鑑を見るだけでも楽しいものですが、本当の魅力を知るには、やはり実物を自分の目で確かめるのが一番です。部員みんなで、寒い中で見た冬の星座は忘れられません。満天に広がる星空を眺め、神話に思いを馳せながら星座を結ぶ体験は、果てしない夢へと私たちを誘ってくれます。

部の名前には、「理工」とありますが、文系の学生も所属しています。文理を問わず「仲間と感動を共有したい」という方は、ぜひ部室へお越しください。

(広報担当:理工学部物理・数理学科3年 榊原 世奈)



オリジナルのプラネタリウムを展示



学園祭では何度も賞を受賞

AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方々に送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます©2011青山学院大学

- AGUニュースのバックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。
 - AGUニュースを確実に保証人の方へお届けするため、住所が変更になった場合は、住所変更の手続きをお取りください。
- 事務取扱窓口 青山キャンパス→学生部厚生課
相模原キャンパス→学生部学生生活グループ



発行元: 青山学院 本部広報部
TEL. 03-3409-6578

● 2011年10月20日発行 ●